

平成28年4月28日

各位

ダイダン株式会社

建築設備からのZEBの発信を目指す
ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ完成

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：北野晶平、証券コード：1980）は、福岡市中央区に、「ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ」（通称「エネフィス九州®」）を完成させました。



完成した「ダイダン九州支社・スマートエネルギーラボ」

ダイダンは、スマートエネルギーへの取り組みを強化するため、平成25年、技術研究所（埼玉県入間郡三芳町）に省・創・蓄エネルギー技術や最先端技術の研究・検証を行う「新研究棟」を建設しました。更に平成27年には技術研究所の研究棟を、スマートエネルギー化実現のため「パレットリニューアル^(*)」により改修し、検証を続けています。

(*) パレットリニューアルは、ダイダンが持っている多様な技術をお客様のニーズに合わせて組み合わせ、次世代型建築設備に改修するリニューアル提案の名称。

今回のエネフィス九州の建設の目的は、建築設備からのZEBの発信を目指して、自社の新築の建物でスマートエネルギーに関する最新の技術を実証することにあります。このた

め、九州支社としての事務所機能を有したスマートエネルギー実証施設となっています。

エネフィス九州は、単にエネルギー消費量の削減にとどまらず、室内外の環境品質を維持しつつ大幅な省エネを実現するため、最先端技術の導入と総合設備工事業ならではのチャレンジを行っています。

その一例として、直流給電による電力システム、3種類の地中採熱方式、照明・空調（又は防災設備）一体型機器「**CEILING FREE**（シーリングフリー）」、粉じん持ち込み防止システム「**ion-DROP**（イオン・ドロップ）」などの最新の技術を取り入れています。

これら設備をダイダンの技術力でデザイン&コントロールして、室内の快適性を保ちながらエネルギー消費量を抑制するというテーマに挑戦し、年間のエネルギー消費量 $500\text{MJ}/\text{m}^2$ ⁽²⁾を目指します。

⁽²⁾ MJ（メガジュール）：エネルギー消費量の単位。同規模の一般的なオフィスビルのエネルギー消費量は、約 $1,300\text{MJ}/\text{m}^2$ 。

エネフィス九州では、産学連携によるプロジェクト体制を構築し、総合監修、エネルギー評価は、工学院大学の野部達夫教授、室内快適性は、早稲田大学の田辺新一教授など、各専門分野の先生方と協力し様々な技術を盛り込んで評価を行っていきます。

今後、展示エリアの整備等を経て、本年5月14日に竣工披露式を行い、5月下旬に本格稼働を予定しています。

■エネフィス九州の建物の概要

- (1) 所在地：福岡市中央区警固三丁目1番24号
- (2) 規模：敷地面積＝ 760m^2 、延床面積＝ $1,384\text{m}^2$
- (3) 構造：S造、地下1階・地上3階
- (4) 設計：NTTファシリティーズ株式会社、ダイダン株式会社
- (5) 工期：平成27年5月～平成28年4月

以上

【お問合せ先】ダイダン株式会社業務本部広報部 鮫島
〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10
Tel.: 03-3261-8231 E-mail: sameshimatoshiaki@daidan.co.jp